

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

教育方針	(基本方針) 人格の完成を目指して、思いやりの心・向上する心・健やかな心を養い、21世紀をたくましく生きぬく、自主的精神に充ちた、心身ともに健康な生徒の育成に努める。 (指導目標) 自己教育力の向上を目指して、基礎・基本の徹底を図り、生徒一人一人の自己実現を促す。	重点目標	(本年度の重点努力目標) 主体性・多様性・協働性を高め「生きる力」を育む ～地域・社会に貢献できる人財となろう～ 1 地域に根ざした学校、地域に貢献できる学校を目指す。 2 個に応じた学習指導を徹底し、進路実現を図る。 3 自ら考え、自ら行動できる生徒の育成に取り組む。 4 教育活動を通して、健全な心と体を育てる。 5 清潔で美しい学校環境づくりに励む。 6 教育活動の公開と情報発信に積極的に取り組む。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校運営等	地域に密着した学校、地域に貢献できる人材づくり	○生徒・教職員・保護者が一体となった学校(人)づくりを進める。 ・生徒の地域へのボランティア活動参加100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満 ・笑顔で元気なあいさつ100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満 ・毎日教職員から声をかけられる生徒100% A:100% B:95%以上 C:90%以上 D:85%以上 E:85%未満 ・三瓶分校へ入学して良かった生徒、入学させて良かった保護者100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満	B	・コロナ禍により地域で活動するチャンスが例年より減少したが、地域からの要望に応え、できることを探し、創意工夫をしながらボランティア活動ができた。 ・挨拶に関しては、昨年度より教職員・生徒の高いレベルでの意識付けができた成果である。 ・教職員から声をかけられる生徒に関しては、微増である。 ・分校へ入学してよかった生徒、入学させてよかった保護者は9割以上を占めている。	ボランティア活動においては、地域の要望に応えるべく普段からアンテナを張り、地域とコミュニケーションを取りながら、生徒が校外で活躍できる場を広げ、自己肯定感や自己有用感を味わわせる。 ・挨拶に関しては、授業の前後、校内での挨拶、外来者への挨拶、部活動での挨拶など学校生活全般にわたり挨拶の内容の充実を図る。 ・小規模校ならではの生徒と教員の距離の近さを来年度も継続し、生徒理解へとつなげていく。 ・高校生活を満足させる特色ある活動、進路保障などこれからも学校としての責任を果たしていく。
		○学校行事への保護者の参加率を高める。 ・保護者の学校行事への参加・協力100% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:60%以上 E:60%未満 ○地域との協働に努める。 ・生徒・教職員の地域行事への積極的な参加 ・市や町と協力体制の整備による三瓶分校の魅力化 ・学校の存続と生徒の確保	B	・コロナ禍での行事開催であったが、積極的に参加していただいた。 ・公営塾が開塾し新たな魅力が打ち出せた。 ・地域みらい留学を利用して、全国にPRできた。	・学校行事のPR及び内容の充実を図り、参加率を高める。 ・HR活動、総合的な探究の時間など地域の人材を活用する。 ・全国募集活動をさらに充実させるとともに、近隣中学校への働きかけや地域と連携し学校の魅力をPRする。
	○積極的に本校の情報を発信する。 ・HPをリアルタイムで更新する。 ・メディアを通しての積極的な魅力発信 ○教職員の多忙化を改善する。 ・時間外勤務の短縮 A:1か月あたり45時間以内 B:60時間以内 C:70時間以内 D:80時間以内 E:80時間超え	B	・HPの更新はできている。 ・メディアを通してのPR活動もほぼできている。 ・ほとんどの教職員が45時間以内である。	・HPやメディアを通してのPR活動は引き続いて行う。 ・学年団、課内、科内で個人に仕事量が偏らないように、普段からの人間関係づくりを大切に協力体制を充実させる。	

※ 評価は5段階 (A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった) とする。

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	個に応じた学習指導 -確かな学力の定着と向上-	○生徒の実態に合わせた指導法の研究に取り組む。 ・生徒の授業満足度について A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~40% E:40%未満	B	・授業アンケートで、「授業の内容が理解できている」の評価が4.06ポイントだった。	・ICT機器を活用するなど、さらに生徒が興味・関心を持つ授業、分かりやすい授業を目標にして、自己研鑽に努める。
		○生徒自ら学ぶ意欲を育てる。 ・家庭学習時間毎日2時間以上 ・毎日の課題と確認の徹底 ・課題をこなせない生徒への配慮と指導	D	・学習時間調査では、昨年度より60分程度減少した。	・進路目標を明確にするとともに、その実現のために努力することの必要性を認識させる。各教科で、適宜、課題を与えるとともに事後指導も徹底させて、学習習慣を身に付けさせる。
		○アクティブラーニングを取り入れた授業の研究と実践を行う。 ・校外研修や他校視察を実施 ・ICTを活用した授業改善の実施	C	・新型コロナウイルスの影響もあり、他校の学校訪問等への参加する機会が減少した。 ・スタディーサプリを長期休業中の課題及び課題テストに活用した。	・スタディーサプリ、及び普通の授業でのICT機器の活用について、より効果的に活用できるように研究を重ねる。
生徒指導・特別指導	三瓶スピリットの育成と向上(思いやりの心、向上する心、健やかな心)	○部活動、ボランティア活動を通して確かな三瓶スピリットを育てる。 ・積極的にボランティア活動に参加をさせる。 A:40名以上 B:30名以上 C:20名以上 D:10名以上 E:10名未満(延べ人数)	C	・コロナウイルス感染症の影響で、外部へ出たの行事がほとんど中止となり、満足な活動ができなかった。 ・生徒は学校生活において、様々な活動の呼び掛けにも快く対応してくれ、ボランティア精神は、獲得していると思われる。	・当初の計画が実施できなかったため、来年度も引き続き今年度の目標を掲げて実施する。
	特別活動(部活動)の活性化	○生徒自身による自主的な学校行事、生徒会行事を推進する。 ・一人一役運動の推進と徹底 ・部活動加入100% ・各種大会・発表会等への参加、2回以上	A	・一人一役以上の活動をしており、活発な活動ができている。 ・部活動への加入は100%である。 ・コロナウイルス感染症の影響で各種大会等が軒並み中止となったが、数少ない大会・発表会に出場した。	・宇和高との合同活動を実施していき、各種大会に出場して、積極的な生徒の活動を引き出す。 ・生徒数減少の中で一部に負担がかからないよう全校で行事等に取り組めるようにする。
	安全・衛生指導の徹底	○安全指導の徹底を図る。 ・月1回、教職員による街頭指導を実施する。	A	・予定通り、年間を通して、街頭指導を実施することができた。	・手洗いや消毒などの感染症対策を日常化して普通の学校生活が送れるよう指導徹底する。 ・交通マナーを徹底して、事故に合わない・起こさない指導を実施する。
	美しい学校環境づくり	○生徒・教職員、時間一杯清掃活動に取り組む。 ・清掃の5分前行動 A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満	B	・少ない人数で割り当てられた場所を一生懸命に活動に取り組んでいる。	・生徒数減少により学校全体の美化に対して難しい部分もあるが、工夫を凝らして学校環境を整備する。

※ 評価は5段階 (A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった) とする。

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	個に応じた進路指導	○全教職員・保護者が一体となって進路指導を進める。 ・志望校合格100%・就職内定100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満 ・スタディサブリの積極的活用 ・進路に関する三者面談の充実 ・在学中、各種検定一人一検定以上合格	B	・志望校合格100%・就職希望者内定100% ・夏季及び冬季休業中に年2回の保護者懇談（三者面談等）実施 ・夏季及び冬季休業中課題としてスタディサブリの配信動画視聴を設定。 ・各種検定合格生徒（1年0.0%、2年100%、3年83.3%）	・保護者と学校が一体となって進路指導の更なる充実に努める。 ・検定取得、資格取得意識の高揚を図る。 ・進路指導を全教員が共通認識を持って取り組む。
		○生徒の進路意識向上のため1年次より適切な進路情報の提供や啓発を行う。	C	・オープンキャンパス情報は各学年に提供できた。各学年で進路に関するホームルーム活動が実施された。進路室内の資料を整理・充実させた。	・参考となるWebサイトの紹介や説明、ガイダンス等を行うことで、低学年から将来の進路デザインを構築できる活動を充実させる。
	キャリア教育の充実	○職業指導や就業体験活動の充実を図り、望ましい職業観・勤労観を養う。 ・応募前職場見学の充実 ・仕事体験学習やオープンキャンパスへの参加促進 ・ハローワークとの連携強化	B	・コロナウイルス感染症の影響で、応募前職場見学は殆どできなかった。 ・3年生については、オープンキャンパスや校外の進路説明会への積極的参加が見られた。 ・3学期に2年生がハローワーク主催の会へ参加予定である。	・コロナウイルスが終息すれば、応募前職場見学や就業体験活動など勤労観を育む活動を継続していく。 ・オンラインでのオープンキャンパス等への参加を積極的に支援する。
人権教育	人権学習の充実	○人権・同和教育HRの年3回実施や人権講演会を通して、人権意識の高揚を図る。	B	・コロナ禍で授業日数の減少の中、各HRが時間を確保してHRに意欲的に取り組んだ。 ・人との間隔をあけることで、講演会を開催できた。	・ホームルーム活動の充実を図るとともに、学校生活における指導を徹底させる。 ・コロナウイルス感染症拡大の中でもオンライン等での研修を充実させる。
		○人権だよりを毎学期発行し、人権委員会を中心とした生徒主体の啓発活動を充実させる。	C	・コロナの影響で、生徒参加の行事が中止となり、教員主体の人権だより発刊となった。 ・人権委員の活躍の場を確保できなかった。	・生徒中心の人権だよりの発刊をさせる。 ・校外での活動の場を増やす。
	情報モラル教育の充実	○授業やホームルーム活動を通して、携帯電話やネットの適切な利用法を理解させ、他者の人権を尊重する態度を育てる。	C	・SNSによるトラブルがあり、あらためて情報モラルの必要性を感じた。 ・講演会等を利用して啓発を行いたい。	・外部から講師を招いての講演会等を行う。 ・普段の生活から情報発信に対する責任を意識させる。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
現職教育	研修の充実	○ <u>考查中の校内研修が学習指導の妨げにならないように工夫するとともに、校外研修の活用や研修報告を通して資質向上を図る。</u>	B	・5月の三瓶小・中・高合同スポーツ研修と中高研修会が中止となった。「特別支援」「ICT活用」に関する研修が予定どおり実施できた。	・期末考查中の研修を減らすことで、補習時間の確保を図る。また、校内研修の内容がニーズに合ったものになるよう工夫する。
		○ <u>公開授業を研究授業として捉え、「授業のポイント」を明示することで参観者による授業評価を容易にする。</u> ○ <u>教員、訪問者の総授業参観数（授業の一部参観も含む）をチェックすることで、相互の授業研究を促し、授業改善に役立てる。</u> <u>A:50コマ以上 B:40コマ以上 C:30コマ以上</u> <u>D:20コマ以上 E:20コマ未満</u> <u>（公開授業1回あたり平均）</u>	B	・公開授業は第1回が中止となったが、他は計画どおり実施できた。「授業のポイント」は、参観者用の資料に明記し、評価の一助とした。また、授業参観者数は平均50コマを超えたので、教員相互の授業参観は増えたと感じる。	・本校教員間の授業参観をより活発にするとともに、公開授業を研究授業と捉えてもらうように働きかける。公開授業や研究授業が、普段の授業改善につながるよう実施する。
保健・安全管理	保健活動の充実	○ <u>月1回、生徒の健康課題に沿った「保健だより」を発行する。</u>	B	・月1回、生徒の健康課題に合わせた内容で保健だよりを発行した。	・月1回の発行に加え、委員会を活用して生徒が主体となり健康課題に取り組める記事を入れる工夫をする。
		○ <u>生徒保健委員会活動を充実させ、健康に関する情報発信と意識向上に努める。</u> ・ <u>感染症の予防のための手洗いと換気の励行</u>	B	・新型コロナウイルス感染症予防のための校内放送や全校集会の実施、掲示物を作成し、健康に関する情報発信・意識の向上を図った。日常の活動では、健康日誌の記入、教室の換気、冬季は加湿を励行した。	・月に1回保健委員会を開催し、校内放送や掲示物の作成、換気等の環境衛生活動を実施し、委員会の活動をより充実させることで、三高生の健康課題を少しでも解決する。
	安全管理の徹底	○ <u>月1回の安全点検を実施し、安全管理の徹底を図る。</u>	B	・月に1回安全点検を実施し、必要な箇所は速やかに修繕し、事故等の未然防止を図った。	・月1回安全点検を実施し、必要箇所の速やかな修繕と、安全管理を推進する。
事務	教育行政職員としての適切な業務の遂行	○ <u>分校化により本校と予算が一本になったため、本校と連携して予算を有効に活用する。</u>	B	・コピー用紙の購入や印刷物の製本を本校・分校まとめて行うことで、約50,000円の経費削減となり、予算を有効活用することができた。	・本校と連携しながら更なる経費節減に努め、教育活動への効果的な予算執行をする。
	環境整備と安全管理	○ <u>校内の修繕箇所の早期発見、早期対応を図る。</u>	B	・安全点検や職員間の情報共有により、修繕箇所を早期に把握し対応することができた。	・生徒及び教職員の安全を第一に考え、引き続き設備環境の向上に努める。
		○ <u>今年度の100周年記念事業及び来年度の学校訪問に向け、美しい学校環境づくりに努める。</u>	A	・樹木剪定及び除草作業が必要な時期に適切に実施できた。	・より一層、美観を考慮して環境整備を行う。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。